

特集

没後50年の川端康成

16

佐伯一麦 遵守された戒律 17

大道珠貴 産みもせず生まれもせず 20

城戸朱理 川端康成の眼 25

富岡幸一郎 『みづらみ』の川端 29

文科 新しい芥川像の発見 関口安義 6

語り継がねばならぬ歴史 渡邊澄子 8

坂本忠雄さんのこと 前田速夫 10

農民文学賞を受賞して 大嶋岳夫 12

追悼 高畠寛氏の小説に思うこと 奥野忠昭 14

鎌倉幽世八景〈3〉

創作 袖塚 藤沢周 38

あばずれ 水口道子 83

冬の蜂 片島麦子 48

五月の谷 青木哲夫 96

医学と文学の間〈7〉大鐘稔彦 57

反転銀河に疑似星座 柳沢さうび 110

乱雲の月―後光厳天皇の時代〈6〉

足利尊氏の存念 松本徹 73

沙羅の木 田辺陽子 166

中上健次と韓国〈1〉

猫たちが棲む星 かめいのり子 176

新連載 芝の増上寺の男寺党 中沢けい 195

名作の舞台―記録と記憶①②

夏目漱石『草枕』／川端康成『伊豆の踊子』 清水節治 36

追悼・西村賢太 305

同人雑誌季評

紐帯の場 谷村順一 238

勝又浩

見ること・巻き込まれること 河中郁男 244

海の詩学―三島由紀夫 5
連載 中等科一年生―鶴原海岸からの誘い 鈴木ふさ子 198

学界への窓 15

森有礼の先妻・常の肖像写真 相川良彦 206

―漱石『三四郎』の広田先生の夢の女のモデル―

私の朝鮮半島地図(10)

漢江の奇跡とソウル・オリンピック 柴田翔 211

「ことば」と「からだ」 28

離れる(1) 芹沢俊介 214

文藝季評 38

私小説の復権? 伊藤氏貴 225

「私小説」を歩く 第二十三回 太宰 治

「死にたい病」はどこからくるのか 佐藤洋二郎 287

大倉山から 11

敗戦の年の三島由紀夫 松本徹 293

同人雑誌および本誌会員から 229

堺まで 阪堺電気軌道上町線沿線歩き 西内真次郎

「百歳以前」刊行のあとさき 土井莊平

下読み合評会の勧め 磯部 勝

がらくた 後藤克之

今号の勝又浩「道元」「正法眼蔵」の宇宙と人間」は休載となります。

砦

清水節治 28

松本徹 35

勝又浩 109

会員規約 318

今号の執筆者

編集後記 320

319